

第22回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール開催要項

1 目的

- 技術・家庭科で学んだ知識や技能を活用し、自分や家族の生活をより豊かにするためのアイデアバッグの設計・製作を通して、ものづくりの喜びや創造する楽しさを味わう機会とする。
- 生活の中から課題を見だし、使用する人や目的に応じた工夫やアイデアを形にする活動を通して、主体的に考え行動する力や創造力を育む機会とする。
- 製作した作品について発表し、互いの工夫や考えを共有する活動を通して、思考力・判断力・表現力を高めるとともに、他者と学び合いながら知識や技能の向上を図る機会とする。

2 主催団体等(含予定)

主催：関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会

千葉県教育研究会 千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会

共催：千葉県教育委員会 千葉市教育委員会 千葉県木材振興協会

千葉県技術・家庭教育振興会

後援：千葉県 千葉県中学校長会 公益財団法人千葉県学校給食会

協賛：山崎教育システム株式会社 開隆堂出版株式会社

東京書籍株式会社 キックマン株式会社 株式会社ジャノメ

クラフトハートトーカードットコム 総武教育プラン

3 開催日 令和8年11月7日（土）

4 会場 千葉県総合教育センター 千葉県千葉市美浜区若葉2丁目13

5 参加費 無料

6 競技の課題および課題製作上の注意

(1) 競技の課題について

『バッグ（ショルダーバッグ、トートバッグ、リュックサックなど）』とする。

(2) 使用する布について

・バッグ本体の全部または、一部に、家庭にある自分または、家族の衣服を用いる。

その他、衣服以外の布などを加えてもよい。

(3) デザイン及び機能について

・衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。

（例：ポケットの形状やボタンをそのまま利用する など）

- ・『バッグ』の口を閉じられるようにして、中身が出ない工夫をする。

(4) 縫製について

- ・入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。
- ・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。
- ・スナップは、必ず1つ以上付ける。

(5) プレゼンテーションについて

- ・当日は「製作した『バッグ』について、3分以内の発表を行う。その際、利用方法、「自分や家族の生活を豊かにする視点」「私にとってのものづくりの視点」、「衣服の再利用の工夫の視点」から発表をする。また、まつり縫い・スナップを取り入れた部分をも発表に盛り込むこと。更に解体前の全体像を、写真またはイラストで表す。そのあと審査員から作品や製作について2分程度質疑応答を行う。

(6) 作成全般について

- ・応募者本人が設計・製作した作品であること。
- ・生成 AI やインターネット等を活用して情報収集やアイデアの整理を行うことは差し支えないが、設計意図や工夫点について自分の言葉で説明できること。
- ・作品には、使用する人や場面を想定した課題解決の視点や工夫が取り入れられていること。
- ・著作権、商標権、肖像権等に配慮した作品であること。

7 審査項目（100 点）

縫 製 【35点】	縫い代の幅と始末の仕方	・布やバッグの部位に応じて、適切な幅であるか、縫い代を適切に始末しているか。
	ミシン縫い	・バッグの部位に応じて、縫い目の大きさや強度が保たれる工夫をしているか。
	手縫い（まつり縫い、スナップ）	・まつり縫いが適切にできているか。 ・スナップを適切に付けているか。
	出来栄	・作品の出来栄はどうであるか。
発 表 【35点】	発表内容	実際に入れるものを使い、テーマで意図したことを次の3つの視点から具体的に説明しているか。 ・ 「自分や家族における課題」 ・ 「解決方法（衣服等の再利用を含む）」 ・ 「期待される効果」 また、 <u>まつり縫い・スナップを取り入れた部分をも発表に盛り込み、解体前の全体像を、写真またはイラストで発表すること。</u> 3分以内の発表と2分程度の質疑応答を行う。

衣服の再利用 【30点】	デザイン及び機能性	・衣服の一部の利用は、テーマに応じたデザインになっているか。 ・衣服の一部の利用は、テーマに応じた機能を満たしているか。 ・使う人の立場に立った工夫がされているか。
-----------------	-----------	--

表彰

県知事賞（1位）、県会長賞（2位）、県会長賞（3位）、学校賞（順位なし） 上位入賞者3名に賞状を授与し、協賛副賞がある場合は表彰をする

8 参加申込み

（1）参加費：無料

（1）申込み締切：令和8年9月4日（金）

（2）申込み方法：

①大会参加申込書、大会参加応諾書を千葉県教育研究会技術・家庭科研究会 HP（GI☆KA CHIBA）からダウンロードし、必要事項を記入する。

②メールに添付し gikachiba@gmail.com に送る。（※確認メールの返信あり）

（大会参加申込書（Excel）、大会参加応諾書在中（PDF））

※今年度より、大会参加申し込みに際し、参加者1名（1作品）につき、1つのファイルを提出していただきます。（例：学校から3名3作品であった場合は3つのファイルを作成します。）

③大会参加応諾書原本については、中学校部副部長（小金中 小嶋）まで送付する。

（しめきり9月末）

なお、封筒には 大会参加応諾書在中 と記載をお願いします。

〒270-0032 松戸市新松戸北 2-16-11

松戸市立小金中学校 小嶋 健一 宛

（4）作品の提出について

① 大会出場者は、大会当日の11月7日（土）に作品とプレゼンテーション資料等を持参し、大会会場に会場する。（大会会場：千葉県総合教育センター 千葉市若葉 2丁目 13番地）

② 大会審査後、作品を返却します。

10 その他

出場数に制限はないので、千葉県内の中学生であれば参加することができます。

※本コンクールに関わる諸連絡、質問等の連絡先

千葉市立川戸中学校 校長 豊川 ますみ

〒260-0802 千葉県千葉市中央区川戸町 443 TEL 043-264-5110 FAX 043-268-4843

※アイデアバッグ担当

松戸市立第一中学校 教諭 船迫 千春

〒271-0076 松戸市岩瀬587 TEL 0473-634171 FAX 0473-642655